

令和8年度 事務事業評価シート（1）

〔 令和7年度事務事業 〕

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	青少年健全育成事業				事業番号	014-131	
担当部署名	こども青少年局	局	こども青少年育成部	部	こども育成課	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ～Children's future～	施策	(1)妊娠から学齢期まで切れめのない子育て支援の充実
			有	取組の方向性	③学齢期・青少年期の子ども・若者と家庭への支援		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
	堺市SDGs未来都市計画2021-2025		無	現状値	—	目標値	—
		施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.7
			有	取組	生涯を通じた学びの支援		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
			無	現状値	—	目標値	—

2	関連計画	堺市こども計画		
3	事業開始年度	— 年度	点検対象年度（個別計画）	令和 11 年度
4	実施根拠	青少年センター等設置条例、堺市ちびっこ老人憩いの広場助成要綱		

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁・指定管理者（堺市立青少年センター・堺市立青少年の家の管理運営） 本庁・地域団体及び市民（ちびっこ老人憩いの広場）本庁・事業受託業者（キャンプ事業）					
6	事業の対象	青少年施設管理運営等：堺市内の青少年（おおむね小学生（7歳）から25歳） ちびっこ老人憩いの広場：市内48箇所（令和8年4月1日現在）				対象数	単位
						約14.5	万人
7	事業の目的	【青少年施設管理運営・キャンプ事業】 指定管理者制度により青少年施設を運営し、貸館及び学習室の提供等一定のコストでニーズに応じたサービスを提供する。また、市内小中学生を対象にキャンプ事業実施により自然体験の機会を提供する。 【ちびっこ老人憩いの広場】 幼児に適切な遊び場を与えて事故等の危険から守ること、また、高齢者の憩いの場として両者の交流を図ることにより、幼児の健全な育成に寄与する。					
8	事業内容	【青少年施設管理運営】 市内2箇所の青少年施設（堺市立青少年センター・堺市立青少年の家）の管理運営業務を実施する。 青少年の諸活動に対する貸館及び学習の場の提供等。（学習、スポーツ、文化・レクリエーション活動等） 【ちびっこ老人憩いの広場】 ちびっこ老人憩いの広場を管理する自治会等の地域団体からの申請を受け、遊具、フェンス等の修繕等を助成する。 【キャンプ事業】 市内小中学生を対象としたキャンプ事業（宿泊、日帰りを年間複数回）を委託業務として実施し、こどもたちへ自然体験の機会を提供する。					
	※国・府の基準より上回って実施した内容	—					
9	主な支出先	青少年施設指定管理者、ちびっこ老人憩いの広場を管理する自治会等の地域団体、キャンプ事業受託事業者					
10	公民連携・協働事業	—					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和11年度
	青少年施設利用者数	人	目標値	180,000	180,000	180,000	180,000
			実績値	172,055	208,364		
			達成率	96%	116%		
	当該指標を選定した理由	青少年施設（堺市立青少年センター・堺市立青少年の家）の利用を促進することで、青少年の健全育成に寄与するため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	指定管理業務における仕様書に記載の設定人数					
12	活動指標	単位		実績		目標	
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	稼働率（自主事業の教室等を含む）	%	目標値	53	53	53	
			実績値	39	44		
			達成率	75%	83%		
	当該指標を選定した理由	稼働率の向上により、利用者数の増加に寄与するため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	指定管理業務における仕様書に記載の設定稼働率（目標値は2施設の目標の平均）					

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	青少年健全育成事業	事業番号	014-131
-------	-----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和5年度	令和6年度	令和7年度		令和8年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	215,302	114,663	161,897	127,107	159,526
	財 国支出金	0	0	0	0	0
	源 府支出金	3,982	4,950	5,000	4,999	5,000
	内 市債	74,500	0	34,500	10,300	27,300
	訳 その他（駐車場貸付収入（ほか））	6,288	6,384	6,307	6,307	6,307
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
	一般財源	130,532	103,329	116,090	105,501	120,919
14	人件費（b）	3,600	3,620	3,720	3,720	3,850
15	年間経費（c）=(a)+(b)	218,902	118,283	165,617	130,827	163,376

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	決算				R7	決算		
16	事業費内訳	青少年センター・家管理運営委託料		97,953	91,646	ちびっこ老人憩いの広場施設賠償責任保険料	R7	決算	69	69
		R8	予算	98,439	92,132		R8	予算	80	80
	青少年センター・家修繕、工事費（監理・設計委託込み）	R7	決算	20,546	10,246	その他	R7	決算	366	366
		R8	予算	45,738	18,438		R8	予算	1,869	1,869
	ちびっこ老人憩いの広場修繕、工事費	R7	決算	2,533	2,533		R7	決算		
		R8	予算	3,000	3,000		R8	予算		
	キャンプ事業	R7	決算	4,999	0		R7	決算		
		R8	予算	5,000	0		R8	予算		
	青少年センター・家全館LED更新リース契約（産廃込み）	R7	決算	641	641		R7	決算		
		R8	予算	5,400	5,400		R8	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

17	区 分		単位	令和6年度	令和7年度
	①	青少年施設利用者数	人	172,055	208,364
	②	上記①にかかる年間経費	千円	99,018	97,953
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	576	470
	算出についての説明等				

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	【青少年施設管理運営】 令和6年度と比べ、青少年施設利用者数は増加し、年間経費及び単位当たり経費は減少していることから、効率性は向上している。一方で、稼働率は目標値を下回っているため、今後は指定管理者の創意工夫により稼働率の向上を図る必要がある。	
	【ちびっこ老人憩いの広場】 老朽化状況や地域ニーズを踏まえた修繕等を実施しており安全性確保に寄与している。	
	【キャンプ事業】 参加希望者が多く、アンケート結果において高評価を得ており、一定の効果が認められる。	

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	青少年施設の運営や活動機会の提供により、青少年の健全育成及び活動の場の確保に寄与している。あわせて、ちびっこ老人憩いの広場における世代間交流や、キャンプ事業における自然体験・協働体験の機会の提供により、子どもたちの生きる力の育成に寄与しており、学齢期・青少年期の子ども・若者と家庭への支援につながっている。	
----	---	--

令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）

20	必要性	■ 高い □ 低い	令和3年度以降、青少年施設の利用促進やキャンプ事業の実施、広場の維持管理等を継続して行い、青少年の活動機会及び地域における居場所の確保に努めてきた。本事業は、学習・交流・体験活動の機会を提供するとともに、地域における見守りや世代間交流の場を確保するものであり、青少年の健全育成に寄与していることから、必要性及び有効性は高いと評価できる。
	有効性	■ 高い □ 低い	